



平成27年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年8月12日

上場会社名 オイシックス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3182 URL <http://www.oisix.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高島 宏平
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部本部長 (氏名) 長谷川 哲也 (TEL) 03(5447)2688
 四半期報告書提出予定日 平成26年8月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の業績 (平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	4,104	9.5	47	△75.7	55	△72.6	31	△74.4
26年3月期第1四半期	3,748	—	197	—	202	—	121	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	5.37	4.88
26年3月期第1四半期	22.19	18.95

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	5,768	3,418	59.3
26年3月期	5,690	3,373	59.3

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 3,418百万円 26年3月期 3,373百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の業績予想 (平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,274	12.2	72	△80.5	83	△78.5	50	△78.3	8.33
通期	18,300	15.0	750	1.3	775	0.0	465	6.4	80.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期1Q	5,803,632株	26年3月期	5,749,400株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	—株	26年3月期	—株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期1Q	5,793,955株	26年3月期1Q	5,470,230株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビューの対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第 1 四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動により一部で弱い動きも見られましたが、金融・財政政策の効果が下支えする中、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

当社の主たる事業領域である安全性に配慮した食品業界を巡る動きとしては、原子力発電所事故に伴う食品の放射能汚染問題のほか、最近の報道において、中国産食品の安全性に関する問題が改めてクローズアップされるなど、食の安心・安全に関する消費者の意識は引き続き高い状況にあります。

EC業界を巡る動きとしては、大手EC事業者や大手流通企業が、相次いでいわゆるネット・スーパー事業強化の方針を打ち出すなど、食品ECの将来性により一層注目が集まっております。また、スマートフォンやタブレット型端末の本格的普及により、ECを取り巻く環境も刻々と変化しております。

このような環境を背景に、当社では成長市場である食品EC市場におけるOisixブランドの確立や、高付加価値食品分野における独自性・競争優位性の確立に取り組んでまいりました。

具体的には、SEO（Search Engine Optimization 検索エンジン最適化）・SEM（Search Engine Marketing 検索エンジンマーケティング）の強化やFacebook等のSNSを活用した顧客開拓、お客様の嗜好や属性に合わせたWebページ作成による顧客転換率の向上を図るほか、イベント等を通じた対面での勧誘を強化することにより、主力サービスである定期宅配サービス「おいしくすくらぶ」への集客に引き続き注力いたしました。

また、高付加価値ブランド食品の取り扱いの拡大や、単品定期購入サービスの強化等により、購入単価の向上に取り組むほか、スマートフォン対応の強化など、お客様により便利にお買い物していただくためのサービス改善にも取り組んでまいりました。

併せて、海老名配送センターを中心に業務効率・コスト効率の改善を図るなど収益基盤強化に努めるとともに、平成26年5月より、企業の福利厚生需要をターゲットに、当社が取り扱う良質な野菜を使ったサラダをオフィスにお届けするサラダデリバリーサービスを開始するなど、新規サービスの育成にも取り組んでまいりました。

これらの結果、当第1四半期累計期間の売上高は4,104,592千円（前年同期比9.5%増）となりました。

一方で、利益面においては、新規顧客獲得のために販売促進費を例年以上に投下したことから、当第1四半期累計期間は赤字を想定しておりましたが、諸経費の節減等を併せて行った結果、営業利益は47,967千円（前年同期比75.7%減）、経常利益は55,528千円（前年同期比72.6%減）、四半期純利益は31,091千円（前年同期比74.4%減）と黒字で着地いたしました。

販売経路（事業区分）別の売上高については、次のとおりであります。

〔EC事業〕

インターネットを通じて主に食品・食材の直販を行うEC事業においては、顧客基盤拡大のために、例年に比してより多くの新規顧客獲得のための販売促進費を投下したことが奏効し、定期宅配サービス「おいしくすくらぶ」会員数が、前事業年度末（平成26年3月末）の82,081人から、当第1四半期会計期間末（平成26年6月末）には87,018人へ増加いたしました。これは前年同月（平成25年6月末：76,937人）に対して、10,000人以上の増加となっております。概ね計画通りに推移しております。

また、お客様の購入単価向上のための取り組みとして開始した高付加価値ブランド食品を当社サイトにて取り扱うサービス「Oiチカgourmet」は、平成26年6月末現在、全71ブランドに拡大いたしました。

このほか、平成25年7月より開始した、ワーキング・マザーなど忙しい女性の方向けに、安心・安全な献立が20分で完成する時短献立キット「KitOisix」を毎週お届けする定期宅配コース「KitOisix献立コース」の会員が、平成26年4月に10,000人を超え、平成26年5月には累計販売数が300,000キットを突破しております。

これらの結果、当第1四半期累計期間におけるEC事業の売上高は3,729,575千円（前年同期比8.3%増）となりました。

<参考情報>一定期宅配サービス「おいしくすくらぶ」会員数推移（四半期単位）

（単位：人）

平成25年3月末	平成25年6月末	平成25年9月末	平成25年12月末	平成26年3月末	平成26年6月末
73,865	76,937	75,816	77,475	82,081	87,018

〔その他事業〕

その他事業においては、平成25年11月より開始した「三越伊勢丹エムアイデリ」の物流サービス等の受託を契機に、当社が保有するアセット・ノウハウを活用し、他社に対し、食品を主な取り扱い商材として三温度帯（冷凍・冷蔵・常温）の物流機能等を提供する事業を、「オイシックスフルフィルメントサービス（略称：オイフル）」として本格的に展開しており、新規クライアントの開拓に注力しております。

また、店舗事業においては、従来から展開している恵比寿店・二子玉川店に加え、中規模店として平成26年1月にオープンした「Oisix CRAZY for VEGGY（オイシックス クレイジー フォー ベジー）アトレ吉祥寺店」の売上高が堅調に推移いたしました。

これらの結果、当第1四半期累計期間におけるその他事業の売上高は375,017千円（前年同期比22.5%増）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末と比較して78,451千円増加し、5,768,845千円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べ32,398千円増加し、4,461,976千円となりました。これは主に現金及び預金の減少51,103千円、売掛金の増加42,006千円、未収入金の増加24,293千円によるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べ46,052千円増加し、1,306,869千円となりました。これは、有形固定資産の減少17,663千円、無形固定資産の増加8,752千円、投資その他の資産の増加54,963千円によるものであります。

当第1四半期会計期間末における負債は、前事業年度末と比較して32,857千円増加し、2,349,997千円となりました。

流動負債は、前事業年度末に比べ37,025千円増加し、2,261,449千円となりました。これは主に買掛金の増加107,407千円、未払金の増加114,130千円、未払法人税等の減少191,077千円によるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べ4,167千円減少し、88,547千円となりました。これは主にその他の減少4,370千円によるものであります。

当第1四半期会計期間末における純資産は、前事業年度と比較して45,593千円増加し、3,418,848千円となりました。これは主に四半期当期純利益31,091千円を計上したことによるものです。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月13日付「平成26年3月期決算短信」で公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,378,906	2,327,803
売掛金	1,506,509	1,548,515
商品及び製品	253,500	258,965
仕掛品	5,088	15,509
原材料及び貯蔵品	9,747	11,792
未収入金	221,153	245,447
その他	125,700	122,821
貸倒引当金	△71,028	△68,878
流動資産合計	4,429,577	4,461,976
固定資産		
有形固定資産	624,168	606,504
無形固定資産	325,030	333,783
投資その他の資産	311,617	366,581
固定資産合計	1,260,816	1,306,869
資産合計	5,690,394	5,768,845
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,068,320	1,175,727
未払金	654,428	768,559
未払法人税等	206,953	15,876
ポイント引当金	101,816	97,654
その他	192,905	203,631
流動負債合計	2,224,424	2,261,449
固定負債		
資産除去債務	60,408	60,612
その他	32,305	27,934
固定負債合計	92,714	88,547
負債合計	2,317,139	2,349,997
純資産の部		
株主資本		
資本金	857,397	864,650
資本剰余金	612,162	619,411
利益剰余金	1,903,695	1,934,786
株主資本合計	3,373,255	3,418,848
純資産合計	3,373,255	3,418,848
負債純資産合計	5,690,394	5,768,845

(2) 四半期損益計算書
(第 1 四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第 1 四半期累計期間 (自 平成25年 4 月 1 日 至 平成25年 6 月 30 日)	当第 1 四半期累計期間 (自 平成26年 4 月 1 日 至 平成26年 6 月 30 日)
売上高	3,748,836	4,104,592
売上原価	1,940,999	2,143,222
売上総利益	1,807,837	1,961,370
販売費及び一般管理費	1,610,108	1,913,403
営業利益	197,728	47,967
営業外収益		
受取利息	9	9
受取補償金	2,191	1,910
その他	3,056	6,434
営業外収益合計	5,257	8,353
営業外費用		
支払利息	14	9
株式交付費	-	479
その他	0	302
営業外費用合計	15	792
経常利益	202,970	55,528
税引前四半期純利益	202,970	55,528
法人税、住民税及び事業税	85,756	13,353
法人税等調整額	△4,176	11,084
法人税等合計	81,579	24,437
四半期純利益	121,391	31,091

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間（自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日）

当社の事業は消費者向けに主に食品の宅配を行うEC事業とその他事業から構成されておりますが、EC事業の売上高、営業利益及び資産の金額は、全セグメントの売上高の合計、営業利益及び全セグメントの資産の金額の合計額に占める割合がいずれも90%を超えているため、EC事業以外の事業について重要性が乏しいことから、記載を省略しております。

II 当第1四半期累計期間（自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日）

当社の事業は消費者向けに主に食品の宅配を行うEC事業とその他事業から構成されておりますが、EC事業の売上高、営業利益及び資産の金額は、全セグメントの売上高の合計、営業利益及び全セグメントの資産の金額の合計額に占める割合がいずれも90%を超えているため、EC事業以外の事業について重要性が乏しいことから、記載を省略しております。